

## 2014年産米の収穫予想(7月31日現在)

### 【作柄(水稻)】◆全国作況102の「やや良」

本社では、各都道府県別の7月末までの気象データを、作況推計プログラムに投入して作況を予想しました(8月以降、収穫期まで天候が平年並みに推移した場合の予測値です。台風の通過・接近に伴い、局地的に発生した大雨による浸・冠水被害や8月以降に予想される高温等の影響は、直接反映していません。今後の天候経過により変動する余地があります)。

2014年産(平成26年産)の水稻は、田植期以降に低温の時期(北日本は5月中旬から下旬、東・西日本は5月上旬)があり、初期生育が抑制されたものの、その後はおおむね天候に恵まれ回復。6月は西日本に低温、日照不足の時期があったほか、7月は台風8号の接近・上陸に伴う、局地的な豪雨があり、沖縄県など一部で被害もみられています。全国的な生育はおおむね順調。全国の作況指数は102の「やや良」になることが予想されます。地帯別の作況指数は、北海道105、東北・北陸103の「やや良」、関東・東海・近畿102、中国、四国及び九州が99~101の「平年並み」、沖縄が91の「不良」と見込まれます。

都道府県別にみると、作況指数94以下の「不良」は沖縄県、98の「やや不良」は佐賀県、99~101の「平年並み」は栃木、群馬、鳥取、岡山、徳島、福岡、熊本など15県、102~105の「やや良」はその他30都道府県がそれぞれ見込まれます。

### 【作付面積】◆水稻推計148万2千ha(主食用等)

本年産米における主食用等の生産目標数量は765万トン(作付面積換算144万6千ha)が計画されています。生産調整の取り組み状況(各県等への聞き取り)や、これまでの生産調整トレンドを勘案して、本社としては主食用等の水稻作付148万2千ha、陸稲作付1千ha強の合計148万3千ha強と推計しました。政府備蓄米、加工用米、新規需要米など生産調整の対象となる作付分は収穫予想から除外していますが、その動向により主食用米等の作付面積は変動する可能性があります。

### 【収穫量】◆主食用等802万トン、計画比およそ37万トン増

作況・作付予測に基づく本年産水稻の7月31日現在における主食用等の予想収穫量は、全国平均で10a当たり541kg、収穫量はおよそ802万トン。陸稲試算収穫量を合わせた本年産米全体の収穫予想はおよそ802万4千トンとなり、前年産実績比およそ16万トン減、生産計画比およそ37万トン増ーの見通しです。

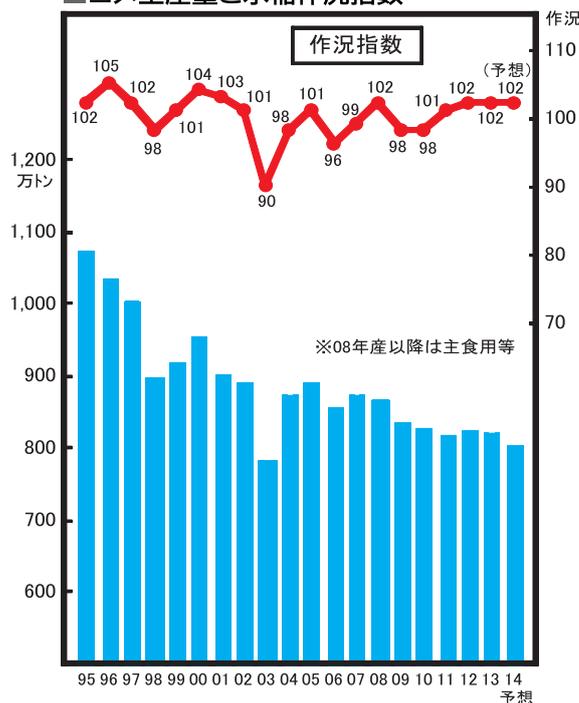
26/27年(平成26年7月から27年6月)における主食用米等の供給量は、26年6月末の在庫222万トン(農水省・速報値)と、上記の予想収穫量を加えておよそ1,024万トンが見込まれます。農水省が基本指針で策定した需要見通し778万トンを差し引くと、27年6月末の在庫は246万トンが見込まれ、「過剰」が予想されます。

【表1】全国の収穫予測(主食用等)

			2014年産	前年差	前年比
合計	作付面積	ha	1,483,000	▲ 41,000	97.3%
	収穫予想	t	8,024,000	▲ 162,000	98.0%
水稻	作付面積	ha	1,482,000	▲ 40,000	97.4%
	10a収量	kg	541	2	100.4%
	収穫予想	t	8,020,000	▲ 162,000	98.0%
	作況指数		102	0	100.0%
陸稲	作付面積	ha	1,470	▲ 250	85.5%
	10a収量	kg	239	▲ 10	96.0%
	収穫予想	t	3,500	▲ 790	81.6%

【注】加工用米、新規需要米は除く。陸稲の作柄は平年並みとして試算。ラウンドのため計が合わない場合がある。

■ コメ生産量と水稻作況指数

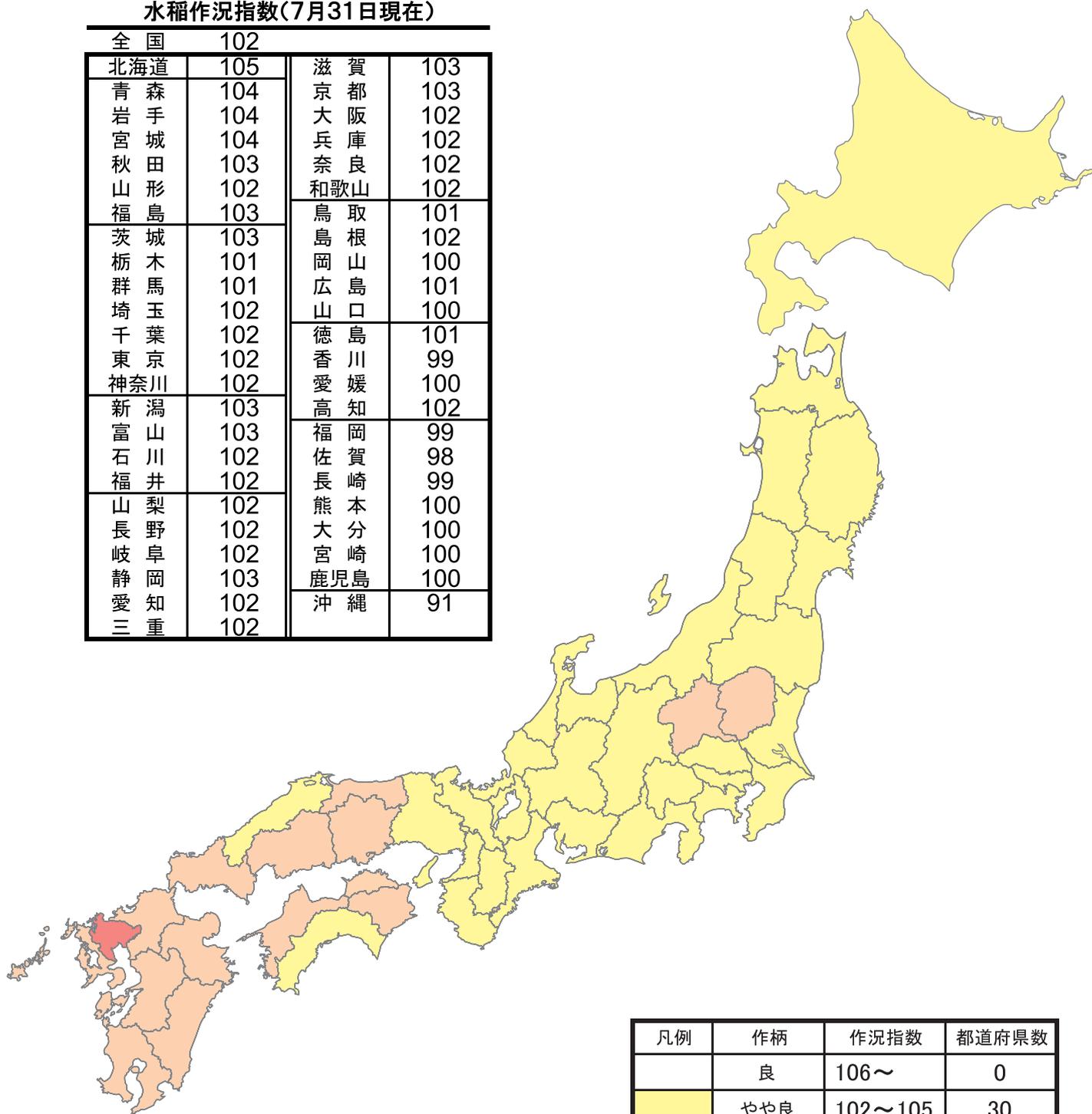


# 2014年産水稻の都道府県別作柄

米穀データバンク予測

水稻作況指数(7月31日現在)

全 国	102		
北海道	105	滋 賀	103
青 森	104	京 都	103
岩 手	104	大 阪	102
宮 城	104	兵 庫	102
秋 田	103	奈 良	102
山 形	102	和 歌 山	102
福 島	103	鳥 取	101
茨 城	103	島 根	102
栃 木	101	岡 山	100
群 馬	101	広 島	101
埼 玉	102	山 口	100
千 葉	102	徳 島	101
東 京	102	香 川	99
神 奈 川	102	愛 媛	100
新 潟	103	高 知	102
富 山	103	福 岡	99
石 川	102	佐 賀	98
福 井	102	長 崎	99
山 梨	102	熊 本	100
長 野	102	大 分	100
岐 阜	102	宮 崎	100
静 岡	103	鹿 児 島	100
愛 知	102	沖 縄	91
三 重	102		



凡例	作柄	作況指数	都道府県数
	良	106～	0
	やや良	102～105	30
	平年並み	99～101	15
	やや不良	95～98	1
	不良	～94	1

[表2]2014年産水稻(主食用等)の収穫予想(7月31日現在)

(単位:面積ha、10a収量kg、収穫量t)

	作付面積	10a収量	作況指数	予想収穫量	前年差
全国	1,482,000	541	102	8,020,000	▲ 162,000
北海道	103,600	564	105	584,000	▲ 17,300
青森	42,300	607	104	256,900	▲ 15,200
岩手	51,700	554	104	286,600	▲ 1,200
宮城	68,400	551	104	377,000	▲ 11,600
秋田	76,200	590	103	449,500	▲ 700
山形	60,900	606	102	369,000	▲ 17,100
福島	64,700	553	103	357,900	▲ 10,700
茨城	72,400	538	103	389,300	▲ 9,600
栃木	58,700	545	101	320,100	▲ 14,800
群馬	15,700	499	101	78,400	▲ 5,600
埼玉	34,200	500	102	170,700	4,800
千葉	58,400	546	102	318,700	▲ 10,400
東京	150	419	102	630	▲ 38
神奈川	3,100	503	102	15,600	0
新潟	105,300	556	103	585,700	▲ 8,700
富山	35,700	553	103	197,500	▲ 700
石川	24,400	529	102	128,900	▲ 1,600
福井	24,800	529	102	131,300	▲ 3,400
山梨	5,040	558	102	28,100	▲ 600
長野	32,600	633	102	206,500	▲ 6,500
岐阜	23,400	498	102	116,500	▲ 3,800
静岡	16,800	537	103	90,200	2,200
愛知	29,300	517	102	151,500	▲ 1,600
三重	29,200	510	102	148,700	▲ 3,800
滋賀	30,800	534	103	164,300	▲ 5,000
京都	15,000	526	103	78,900	▲ 2,200
大阪	5,490	505	102	27,700	▲ 600
兵庫	36,800	514	102	189,200	▲ 600
奈良	9,000	523	102	47,100	▲ 1,100
和歌山	7,200	505	102	36,400	▲ 900
鳥取	13,100	519	101	68,000	▲ 3,600
島根	18,200	519	102	94,500	▲ 2,100
岡山	31,100	526	100	163,600	▲ 200
広島	25,000	528	101	132,100	▲ 500
山口	21,900	504	100	110,400	▲ 600
徳島	12,900	479	101	61,800	▲ 2,000
香川	14,100	494	99	69,900	▲ 3,000
愛媛	15,000	498	100	74,700	▲ 200
高知	12,700	469	102	59,400	1,500
福岡	37,000	494	99	182,800	300
佐賀	25,300	512	98	129,200	100
長崎	13,100	473	99	62,000	▲ 1,200
熊本	36,900	515	100	190,000	1,700
大分	23,400	503	100	117,700	3,000
宮崎	17,900	497	100	89,000	▲ 3,600
鹿児島	22,700	483	100	109,600	▲ 2,900
沖縄	890	281	91	2,500	150

[注]面積は本社推定。加工用米、新規需要米は含まず。

(参考)

**米穀データバンクの作況予測の推移**

年産	本社予測7/31	農水省・初回	農水省・最終
5	93	(8/15) 95	74
6	108	(8/15) 105	109
7	100	(8/15) 100	102
8	100	(8/15) 101	105
9	103	(8/15) 102	102
10	97	(8/15) 99	98
11	103	(8/15) 103	101
12	103	(9/1) 103	104
13	102	(9/15) 103	103
14	102	(9/15) 101	101
15	94	(9/15) 92	90
16	103	(9/10) 101	98
17	100	(9/15) 102	101
18	96	(9/15) 97	96
19	99	(9/15) 99	99
20	102	(9/15) 102	102
21	96	(9/15) 98	98
22	102	(9/15) 99	98
23	101	(9/15) 101	101
24	102	(9/15) 102	102
25	100	(9/15) 102	102

[注]本社予測は、5年産は早場13道県で8月10日現在。6年産以降は全国を対象としています。一方、農水省は平成12年産以降、全国の作柄概況は8/15は文字情報に変更し、9/15現在からの公表になっています。12年産は作期が早まり特例措置として9/1現在の数字が公表されたほか、16年産は9/10現在に変更されています。